

野木町中学生海外(ニュージーランド)派遣報告 国際交流を通して

町では、昨年度より、早期英語教育の推進のために、そして生徒たちの英語力の向上及び国際理解、さらには国際人の基礎を養うために、中学生海外派遣事業を実施しており、今年度も中学2年生12名を8月17日から24日までの8日間、ニュージーランドのハミルトン市へ派遣しました。

派遣中、12名の派遣団生徒が体験したり感じたりしたことなどを紹介します。

【派遣スケジュール】

- ▼ 8月17日 ニュージーランド、オークランド空港に向けて出発
- ▼ 8月18日 マウントイーデン見学後、ハミルトン市へ向かい、それぞれのホストファミリーと対面、そしてホームステイへ
- ▼ 8月19日 ホストファミリーとの生活
- ▼ 8月20日～22日 フェアフィールドインターミディエイトスクールでの学校生活
- ▼ 8月23日 オークランド見学
博物館・スカイタワー
- ▼ 8月24日 帰国

【海外派遣事業報告会】

11月18日(日)学校教育委員会報告会を行います。

【海外派遣事業の展示発表】

11月15日(木)～30日(金)公民館にて展示します。

「マウントイーデン」からオークランド市内を望む



野木中学校2年
安喰 日菜多

ニュージーランドの生徒によるマオリの歌とダンスは迫力があり、圧倒されました。ホストファミリーとも楽しく過ごし、コミュニケーション力を向上させることができました。私たちを支えてくださり、ありがとうございました。



野木中学校2年
仁平 ひより

この海外派遣で一番身についたことは、コミュニケーション能力です。初めは単語だけでは伝わりませんでした。ジェスチャーを使って話してみると伝わりました。伝えたい気持ちがあれば伝わりやすかったです。



野木中学校2年
竹内 那波

この海外派遣で何事にも一生懸命に、そして積極的に取り組むことが大切だということを感じることができました。それはこの海外派遣を支えてくれた役場の方々をはじめ先生方、家族、友達のおかげだと感謝しています。



野木中学校2年
飯塚 茉奈

海外派遣を通して、英語で日常会話することや言語以外の手段でコミュニケーションをとることの楽しさを学ぶことができました。学んだ経験を今後役に立て、グローバルに活躍できる人材になりたいです。



野木中学校2年
永塚 星南

バディやホストファミリーとの交流を通じ、自分の気持ちや伝わる喜びを実感しました。来年はラグビーワールドカップ、2020年は東京オリンピックがあるので、英語で気軽に話しかけることができるように、積極的に話し掛けたいです。



野木中学校2年
田口 桜花

今回の海外派遣で様々なことを学びました。学校生活では、各自の机はなく、席が自由に大きな机に皆で座り、裸足で授業を受ける生徒もいるなど、日本とニュージーランドの違いについて学び、とても貴重な経験となりました。



ウェルカムセレモニーの様子



ワークショップ交流の様子



舞踊(人形)の様子



文化交流(ボイダンス)の発表



フェアウエルパーティーの様子



オークランド空地(出陣前)



ゲーム交流の様子



フェアウエルセレモニーの記念写真



製陶の授業

